

Ⅲ. 総会記念講演の講師・演題一覧

毎年開催のシンポジウムの他に定期的な研究事業を継続してきた。それは春の定期総会（代議員会）にあわせて開催される記念講演会である。毎年講師 1 人の小規模な研究会ではあるが、年度当初における当会の基本的な研究活動の方向性を導いてきた大事な事業活動の一つであった。あわせて、加盟団体の研究活動報告や当面の課題、あるいは中長期の研究展望が語られ、更には、直近の研究会・講演会・フィールドワークの紹介や刊行物の案内などが行われた。加盟団体相互の理解の深まりとともに、シンポジウムや臨地研修などの共同主催・共催・後援による研究活動の連携の絆が強められ現在に至っている。記念講演会は、平成 23 年度から一般公開となり、広く市民の参加を呼び掛けて開催されるようになった。

年度	月日	演 題 等	講師・所属研究団体
8	11・23	加盟団体の研究活動発表	加盟団体代表
9	7・20	風越山の自然と景観について 加盟団体の研究活動発表	北城 節雄（伊那谷自然友の会） 加盟団体代表
10	11・00	加盟研究団体の研究活動報告	加盟団体代表
11	5・30	高森町武陵古墳出土の富本銭 加盟団体の研究活動発表	林 登美人（伊那史学会） 加盟団体代表
12	5・11	加盟団体の研究活動発表	加盟団体代表
13	6・13	加盟団体の研究活動発表	加盟団体代表
14	7・30	加盟団体の研究活動発表	加盟団体代表
15	7・19	加盟団体の研究活動発表	加盟団体代表
16	4・24	天龍川を考える －川路の家型埴輪・船形埴輪について－	小林 正春（下伊那考古学会） 加盟団体代表
17	4・30	最近の地震について 加盟団体の研究活動発表	松島 信幸（伊那谷自然友の会） 加盟団体代表
18	4・30	阿智全村博物館構想と地域戦略策定 加盟研究団体の活動報告	羽場 睦美（東山道神坂総合研究所） 加盟団体代表
19	4・28	伊那自由大学とは何か －関係資料のあつかいについて－ 加盟団体の研究活動発表	清水 迪夫（飯田市歴史研究所） 加盟団体代表
20	4・26	伊那谷まるごと博物館構想の実現に むけて 加盟団体の研究活動発表	後藤 澄寿 加盟団体代表
21	4・25	地域に学び地域の個性的な発展を図 る活動をめざして －山本杵原学校の活用を通して－ 加盟団体の研究活動発表	山内 尚巳（伊那史学会） 加盟団体代表
22	4・24	上伊那と伊那谷学について 加盟団体の研究活動発表	山口通之（上伊那郷土研究会） 加盟団体代表
23	4・24	地域の自然遺産をまもる －生物多様性戦略について－ 加盟団体の研究活動発表	蛭間 啓（はなのき友の会） 加盟団体代表
24	4・28	松尾多勢子生誕 200 年 －多勢子の生涯と新たに発見された伊勢 屋久兵衛奉納額－ 加盟団体の研究活動発表	原田 望（伊那史学会） 加盟団体代表

25	4・27	安東菊子と第二歌集”思い出草”	吉澤 健(南信州文化財の会) 加盟団体代表
26	5・10	仏教考古学から見た下伊那の十王信仰	岡田 正彦(南信州文化財の会)
27	5.14	伊那谷、その魅力と可能性 -学生の現地指導を通して	高柳 俊男(法政大学教授)
28	6.19	今、満蒙開拓の史実から学ぶこと	寺沢 秀文(満蒙開拓平和記念館副館長・専務理事)
29	6.12	「戦後社会のわすれもの」	高橋 寛治(伊那谷民俗学研究所)
30	7.7	伊那谷の美しい景観を守る -古民家の素晴らしさとは?-	松下 重雄(飯田昆虫友の会)
令和 元年	7.7	戸台の化石 -一億年前の小窓を開いて、早 50 年-	北村 健治(戸台の化石保存会)
令和 2 年		(新型コロナ CODID-19 禍により中止)	